

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪府茨木市蔵垣内一丁目	階数	地上4F
建設地	大阪府茨木市蔵垣内	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年4月6日
敷地面積	64,510 m <sup>2</sup>	作成者	西松建設株式会社一級建築士事務
建築面積	41,644 m <sup>2</sup>	確認日	2022年4月6日
延床面積	161,399 m <sup>2</sup>	確認者	西松建設株式会社一級建築士事務所 戸川 へい

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 3.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	92 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	46
④上記+	46

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	3.0
温熱環境	2.3
光・視環境	2.4
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	3.1
耐用性	3.2
対応性	4.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	4.0

**LR のスコア = 4.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	4.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

水資源	3.4
非再生材料の	4.0
汚染物質	4.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 4.3

地球温暖化	5.0
地域環境	3.7
周辺環境	4.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
建物規模が大きいため、外壁デザインにアースカラーのボーダー柄をあしらうことで、広大で無機質になりがちな外壁の印象を柔らかく見せ、物流倉庫が立ち並ぶ中に彩を与えるデザインとしている。外構部には、エリアの立地特性に応じた豊富な植栽を計画している。また、一部を緊急時に近隣に開放できる設えとともに、かまどベンチなどを設置することで、防災時の拠点となるような計画としている。エントランス廻りは大型の庇と開口部を設置することで、	0	
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用し、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。	<b>Q2 サービス性能</b> 外壁仕上材や空調・給排水配管の更新対策に配慮を行っている。また、階高にゆとりを持たせ、壁長さ比率を低く設計するなど、建物のサービス性能の向上に努めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内を十分に緑化し、カフェテリアや広場を開放することにより、室外環境の向上に配慮した設計としている。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電を導入し、BPI <sub>m</sub> =0.69、BEI <sub>m</sub> =0.00としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材を積極的に採用し、ノンフロン断熱材を採用している。また、有害物質を含まない建材を採用するなど、資源・マテリアルについて十分に配慮した設計としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率46%としている。また、交通負荷や廃棄物処理の負荷を抑制し、周囲の敷地に対して十分に配慮した設計を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)大阪府茨木市蔵垣内一丁目計画					
	建設地	大阪府茨木市蔵垣内					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					S	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	
【評価項目】							
	項目	評価内容				スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				5.0	5
②	みどり・ヒートアイランド対策						
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない
その他							
	先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項		
	特に配慮した事項	BPI <sub>m</sub> =0.69 BEI <sub>m</sub> =0.00 ライフサイクルCO2排出率46%					